



年間約1300人が訪れる一中学徒隊資料展示室。  
開館は月曜～土曜日の午前10時～午後5時。年末年始、日祝は休館。  
那覇市首里金城町1-7 / ☎098-885-6450 <http://www.youshu.com/>

# 特集

## 戦後70年特集 首里で、沖縄戦を学ぶ。

今年、終戦から70年という節目の年。そこで、首里かわらばんでも沖縄戦を特集。王都首里から平和を考えてみませんか。

# Vol.30 首里かわらばん

世界遺産・玉陵から安国寺の三叉路、坂道を下ると「中健児之塔」という看板が左手に出てくる。沖縄県立第一中学校は、戦後、首里高校となった。スーパージュワの奥に、一中と首里高校の同窓会・養秀同窓会の「養秀会館」が見えてくる。建物脇の階段をのぼると、一中健児之塔。養秀会館2階には、一中学徒隊資料展示室がある。

沖縄戦を学ぶというと南部戦跡のイメージが強いが、1945（昭和20）年4月、沖縄本島に上陸してきた米軍が目指したのは、首里城地下に構築された第32軍司令部壕。つまり、首里を知らずして沖縄戦を学ぶことはできないのだ。

特に注目したいのは、一中鉄血勳皇隊・通信隊。遺影や遺品、遺書、手記などが展示された一中学徒隊資料展示室は、首里に住む人はもちろん、首里を訪れた人にもぜひ一度は見学に行つてほしい場所だ。

**先輩から後輩へと平和のウミを継承する**

戦場へと動員された沖縄県立第一中学校の生徒たち。米軍上陸前夜の3月下旬に2～5年生に召集令状が出され、1年生までもが地元の防衛隊などへと参加。3～5年生は鉄血勳皇隊として、2年生は通信隊として、また、在校生を引率する形で教職員も戦場へ赴いた。

生徒たちは米軍の激しい砲撃の中、壕掘りや食料確保、伝令、通信用の電線の保線作業などにあたっていたが、5月14日からは鉄血勳皇隊は5つの部隊に分散配属され、首里から南の各部隊の所在地に向けて出発。2年生の通信隊も首里から南部へ撤退する。また十代の少年たちは一般の兵隊たちと同じように戦い、命を落とした。戦没者刻銘板には職員18名、生徒288名が祀られており、鉄血勳皇隊の死亡率は実に76%を上回る。戦場の過酷さを物語る数字だ。

※沖縄の慰霊の塔 大田首秀著より

一中学徒隊資料展示室では、現在も一中世代の方々が証言員として活動。修学旅行生などの対応に当たっている。

「僕は戦時中、九州の学校へ進学していたため沖縄戦を知りません。生き残ったことが申し訳ない気がして、戦没した同窓生のために尽くそうと思ってきました。今は週に3日ここで展示物の説明をしています。しかし僕たちも年を取りました」と語るのは、一中時代の岸本政一さん。そこで、養秀同窓会では戦後生まれの首里高



右岸本政一さん、左山田親信さん

卒業生が、平和組織部会として戦前生まれの一中世代をサポートする体制へとシフト。山田親信さんはその一人だ。

「一中の生徒たちが戦場へ動員され、十代の若さで亡くなっていったことを語り継いでいなくては、首里高校では1年次にここで平和学習をしますが、県内外の中学生高校生にも、一般の方々にも、戦争のむごさ・愚かさを知っていただきたくです。今後は展示をさらに充実させるために、証言ビデオの再編集などにも取り組みたいと考えています」

一中生たちが必死で掘り進めた、通称一中壕の入口が、一中健児の塔の背後の斜面にある。2015（平成27）年、遊歩道が整備され、平和学習の場とします充実している。

## ウグシクだよ

ウグシク（御城）とは、首里城のことです。元々は敬称ですが、首里では今でも親しみを込めてこの呼び方を使います。

# 琉球王国時代の風が吹く 首里城祭

**10/31 (土)**

**冊封使行列・冊封儀式**

時間 冊封使行列 11:40～11:55  
冊封儀式 12:10～13:10  
場所 守礼門～首里城正殿前御庭  
料金 御庭での観覧は要入館料

**10/31・11/1 (土) (日)**

**首里城音楽祭**

楽しいお酒と食もあります  
時間 16:00～20:00  
場所 首里城公園 首里杜館  
無料休憩所・芝生広場

**11/1 (日)**

**琉球王朝絵巻行列**

時間 12:30～14:30  
場所 那覇市国際通り  
料金 無料

**10/31 (土) 11/1 (日)**

**万国津梁の灯火**

時間 17:00～21:00  
場所 首里城公園内  
料金 無料

**11/3 (火祝)**

**琉球王朝祭り首里「古式行列」**

時間 12:50～15:30  
場所 首里城正殿前御庭～守礼門～龍潭通り  
料金 御庭での観覧は要入館料

**10/31 (土) 11/2 (月)**

**伝統芸能の宴**

時間 10:00～20:20 11/2(月)は、16:20まで  
場所 下之御庭(糸図座・用物座)  
料金 無料

## お問い合わせ 首里城公園管理センター

沖縄県那覇市金城町1-2 Tel.098-886-2020 Fax.098-886-2022

## 首里かわらばん 第30号

2015年10月発行

編集 首里かわらばん編集会議

発行/事務局 NPO法人 首里まちづくり研究会  
〒903-0805 那覇市首里鳥堀町1-50-1 東雲館102  
TEL 098-963-9294 / FAX 098-963-9296  
<http://happy.ap.teacup.com/suimachi/>

協力 78タイフーンFM(周波数78.0MHz)  
〒903-0824 那覇市首里池端町34 2F  
TEL 050-3539-1178 / FAX 098-882-2400  
<http://www.fmnaha.jp/>

タイトルデザイン 石原左内

**編集後記** ※編集会議では、首里地域の皆さまのホットな情報提供をお待ちしております。

秋は首里の季節!特に11月3日の「琉球王朝まつり首里」は年に一度、龍潭通りを半日解放して開催される首里最大のイベント。古式行列から地元の伝統芸能、龍潭の火花までお見逃しなく!

**バックナンバーのお知らせ** バックナンバーは、首里まちづくり研究会事務局(首里鳥堀交差点・ポタリング首里内)にて、1部100円(活動協力金)でお求めいただけます。

■首里かわらばんのバックナンバーがホームページでご覧いただけます。  
首里地域情報ポータルサイト「e首里ドットコム」  
URL <http://www.e-sui.com/>

石巻のまち首里金城町/城下町のメインストリート龍潭通り/首里の旗頭/首里の伝統菓子/首里三箇のまちづくり/龍潭駅周辺エリア/琉球の宮廷音楽/真和志今昔/寒水川/水への感謝でつながる神/フタギとともに愛される紅型(山打根)/旗頭に魅せられた男たち(鏡原町)/大中(ウフチュン)の歴史を見守り続けて(大中町)/首里城は世界でも大きな遺跡/結束力に支えられて広がる当麻のまちづくり/歴史と地域を守り継ぐ舞-釘良町獅子舞/先を踏む力で和を結ぶ結末のまちづくり/子どもたちが誇りを持つ故郷/二つの龍門-中山門と守礼門/静かに出陣を待ち続ける大太鼓-久場川/延賢太鼓/首里城復元20周年記念特集/地縁団体法人化を行い、若さと活力のある平良町自治会/歴史と文化のまちから発信「琉球王朝祭り首里」/王都・首里でしか出会えない物語がある「首里トワイライト物語」/ヨコのつながりで地域を盛り上げる大名城福祉推進会/辺りから御城へウミをつなぐ首里城への若水献上役伝説活祭

■お問合せ  
事務局  
TEL 963-9294